



軽防協ニュース速報

2018年第3四半期(7月-9月)の伝染病発生状況

2018年12月配信

(International Collating Centre からの情報)

2018年第3四半期の報告

アルゼンチン

馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

2018年第3四半期に、サンタフェ州エスペランサ市にて EHV-1 による流産が1施設で15例確認された。流産および新生子死は妊娠9～11か月で発生した。3週間以内に40頭のうち15例が流産した。妊娠馬は Pneumabort K ワクチンを接種されたが、妊娠7か月に打つべき2回目の接種時期が遅れ、さらに流通の影響で妊娠9か月に接種された。妊娠馬が繋養されていた放牧地の環境が悪く、牧草ロールが与えられていた。確定診断は農業技術研究所 (INTA) で行われ、ウイルスの同定はマルチプレックス PCR、変異型の同定は遺伝子多型を識別するリアルタイム PCR で行われた。

オーストラリア

報告未着。

カナダ

馬伝染性貧血 (EIA)

2018年4月1日から6月30日の間に、アルバータ州の施設で計2例の EIA 陽性例が報告された。この2例は別の施設での発生で疫学的な関連は認められなかった。1例は競技の事前検査で、もう1例は輸出前検査で認められた。採材時にはどちらも臨床症状を認めなかった。

チリ

報告未着。

デンマーク

報告未着。

フランス

馬感染症疫学監視ネットワーク RESEP からの情報。フランスの発生報告は第 1 四半期以降の中間臨時報告として既に発表されていることに注意されたい。

ドイツ

ドイツの発生報告は第 1 四半期以降の中間臨時報告を通じて既に発表されていることに注意されたい。

有限会社 Dr.Boese 研究所 (HBLB の CEMO 認定研究所) による追加結果

馬伝染性子宮炎(CEM)

2018 年第 3 四半期に、異なる 9 施設において CEM の発生が非サラブレッド種 10 例（アイランド種 7 例、シェトランド種 1 例、温血種 2 例）で確認された。確定診断は生殖器スワブを用いた PCR 検査によってなされた。

ウマヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経型疾患

2018 年第 3 四半期に、EHV-1 による流産の発生が 1 例確認された。その雌馬は神経症状を呈した。確定診断は EDTA 加血液を用いた PCR 検査によってなされた。

ウマヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器疾患

2018 年第 3 四半期に、異なる 2 施設において EHV-4 による呼吸器疾患の発生が 3 例確認された。確定診断は鼻咽例スワブを用いた PCR 検査によってなされた。

馬ウイルス性動脈炎 (EVA)

2018 年第 3 四半期に、若齢の種牡馬に確認された。確定診断は、精液を用いた PCR とウイルス分離によってなされた。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

2018 年第 3 四半期に、異なる 2 施設において腺疫の発生が 2 例確認された。感染馬は食欲不振と下顎リンパ節腫脹の症状を呈した。確定診断は、喉嚢スワブを用いた PCR 検査と細菌培養によってなされた。

香港

報告事項なし。

アイルランド共和国

サルモネラ

2018年第3四半期に、同一施設において子馬のサルモネラ症の発生が2例確認された。その群を追跡調査したところ、その後8週間で12例（雌7例、子馬5例）にサルモネラ陽性を認めた。これらのウマでは臨床症状を認めなかった。3日間の細菌培養での3回の陰性結果により非感染と判定したが、この基準で陰性と判定されたウマのうち数例は、その後の採材で陽性となった。これらのウマでは、サルモネラが感染定着したのかあるいは単に菌を通過しただけなのかは確定できなかった。確定診断は、エクワインセンターにおいて菌分離によってなされた。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

2018年第3四半期の間、43例の腺疫が報告された。26例はPCRまたは一般的な菌培養検査にて診断した。残りの17例は、サーベイランスプログラムの一部として同じ期間に同じ方法で検出された。診断は、アイリッシュエクワインセンターで実施された。

イタリア

ウエストナイルウイルス (WNV)

2018年第3四半期の間、異なる105施設においてWNV感染症が142例確認され、そのうち8月2日以降に65例の発生が報告された。発生地域はイタリアの中央部のバジリカータ州とラツィオ州であった。症例の19%は臨床症状を示し、死亡率は4%であったことに注意されたい。動物防疫研究所（テラモ県）で血清学的診断を行った。

2018年9月26日時点でヒトのWNV感染症が504名確認されたことも報告する。

- ・神経症状を認めたものが205人
- ・発熱を含む臨床症状を認めたものが239人
- ・献血のスクリーニングにて検出されたものが60人（無症状）

日本

ウマヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

2018年9月25日にワクチン未接種のサラブレッド種でEHV-1が1例確認された。診断は、北海道日高家畜保健衛生所で実施された。

マレーシア

報告事項なし。

ニュージーランド

報告事項なし。

シンガポール

報告事項なし。

南アフリカ

本報告は、近年南アフリカ馬獣医師協会と共同で開発された報告システムを利用した検査機関と開業獣医師による報告に基づいている。その症例数は本報告に反映されているが、必ずしも公的機関を通じてなされた公式な総数が反映されているわけではない。

アフリカ馬疫 (AHS)

2018年7月前半に、AHS 流行地域において、2017/2018年シーズン最後の4例が発生した。東ケープ州で2例、フリーステート州で1例、クワズール・ナタール州で1例である。

ウマ脳症ウイルス (EEV)

ハウテン州で EEV が 1 例報告された。

ウマヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1)

本四半期の間に、EHV-1 に関する報告が 2 件あった。リンポポ州では 1 例、ムプマランガ州では 1 施設 54 頭のうち 10 例での発生が報告された。雌馬 1 例が流産し、他の 9 例は発熱を呈した。

ピロプラズマ病

ピロプラズマ病は、ハウテン州 (18 例)、クワズール・ナタール州 (2 例)、西ケープ州 (2 例)、ムプマランガ州 (5 例) で報告された。

ウエストナイル熱 (WNV)

プレトリア大学ウイルス学部門ウイルス性人獣共通感染症センターのアルボウイルスおよび呼吸器系ウイルスプログラムにおいて、RT-PCR を用いて確認されたハウテン州のフリージアン種の 1 例は、神経症状を認め、その後死亡した。

韓国

報告事項なし。

スペイン

報告未着。

スウェーデン

報告未着。

スイス

ウマヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経型疾患

2018 年 9 月 16 日に EHV-1 が 1 例、PCR によって確定診断された。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

2018 年第 3 四半期の中に、異なる 2 施設において腺疫の発生が 2 例確認された。PCR により確定診断がなされた。

トルコ

報告事項なし。

アラブ首長国連邦 (UAE)

報告未着。

イギリス

イギリスの症例や発生報告は、第 4 四半期以降の中間臨時報告として既に発表していることに注意されたい。腺疫はイギリスの馬では風土病となっている。

アメリカ合衆国

クロストリジウム腸炎

C. perfringens 感染症が 7 例診断された。毒素型は確認されていない。

コロナウイルス感染症

マサチューセッツ州のホースショー会場においてコロナウイルス感染症の流行が報告された。複数のウマが感染し 1 頭が安楽殺された。

東部馬脳炎 (EEE)

EEE が 35 例確認され、そのほとんどが 8 月と 9 月の発生であった。フロリダ州とジョージア州で最も多くの症例が認められた。

ウマヘルペスウイルス (EHV) による疾患

EHV-1 および EHV-4 は広範囲に分布しており、EHV-4 は、子馬の呼吸器疾患の主要な原因である。EHV-1 による神経疾患が 4 件、それぞれ 1 例ずつ異なる州で発生した。

ウマヘルペスウイルス 2 型 (EHV-2) および 5 型 (EHV-5)

EHV-2 あるいは EHV-5 の発生が複数報告され、呼吸器症状を呈した症例も認められた。

馬伝染性貧血 (EIA)

5 州で EIA が報告された。17 例のうち 10 例はテキサス州で報告されている。

馬インフルエンザ

アメリカにおいて馬インフルエンザは風土病である。本期間では 3 州で発生が認められている。

馬のネオリケッチア病 (ポトマック熱)

5 州で馬のネオリケッチア病が報告され、ケンタッキー州で最も多くの症例 (26 例) が確認された。多くの馬は治療に良好に反応したが、ケンタッキー州では 6 例死亡した。

馬増殖性腸症

ケンタッキー州において、*Lawsonia intracellularis* 感染が 1 例報告された。

狂犬病

デラウェア州において、ロバで 1 例報告された。

ロドコッカス感染症

アメリカ合衆国においてロドコッカス感染症は風土病である。多くの症例や流行は報告されていない。本期間では、ケンタッキー州で 13 例報告された。

サルモネラ症

サルモネラ症は 11 例報告され、そのうちの 9 例が血清型 B 感染であった。

腺疫 (*Streptococcus equi*)

アメリカ合衆国において腺疫は風土病であり、21 州で 54 件の発生が報告された。少なくとも 87 頭が本疾患と診断された。9 州で複数の発生が認められている。

ウエストナイルウイルス (WNV)

特に 9 月に WNV の活動が急増加し、132 例のうち 38 例はオハイオ州で報告された。多くの州で報告されている。